

平成31年第1回定例会一般質問

日 時 2月27日(水)、28日(木)、3月1日(金)、4日(月)
 いずれも午前10時から
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	吹春 やすたか	平成31年2月27日(水)
2	鈴木 成夫	
3	村山 ひでき	
4	沖浦 あつし	
5	小林 正樹	
6	宮下 誠	
7	白井 亨	平成31年2月28日(木)
8	遠藤 百合子	
9	河野 律子	
10	坂井 えつ子	
11	板倉 真也	
12	紀 由紀子	
13	たゆ 久貴	平成31年3月1日(金)
14	渡辺 ふき子	
15	片山 薫	
16	水上 洋志	
17	湯沢 綾子	
18	渡辺 大三	
19	岸田 正義	平成31年3月4日(月)
20	斎藤 康夫	
21	田頭 祐子	
22	森戸 洋子	

一般質問の通告について

発言順

1

平成31年2月13日
(西暦2019年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

吹春やすたか

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市の「第32回オリンピック競技大会」及び「東京2020パラリンピック競技大会」への対応について問う。	
(1) 小金井市は、この歴史的大会へいかに対応するのか。	
(2) 開催期間、多くの観光客が小金井市を訪れる企画を立ち上げないか。	
2、武蔵小金井駅南口のサクラの植樹について問う。	
(1) 事業化に当たっての事務手続きは十分だったか。	
(2) 小金井三宅島友好協会の再三にわたる要請への対応は。	
(3) 市民力の結集、市民参加、市民協働に合致しているか。	
3、小金井市の防災について問う。	
(1) 消防団の団員の募集方法を見直し、装備の更なる充実を図らないか。	
(2) 小金井市防災訓練を見直さないか。	
(3) 発電設備の無い現在の市役所の防災体制を見直さないか。	

一般質問の通告について

発言順

2

平成31年 2月13日
(西暦 2019年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木 成夫

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 「地域がいのちを守るまち小金井」実現の現状と課題は	
(1) 自主防災組織の拡充	
(2) 災害時に支援が必要な人も避難できる見守り組織の構築	
(3) 公園に設置する非常用防災設備の拡充と防災拠点機能の向上	
2. 小金井市の子育て支援関連施設及び学校教育現場における	
医療的ケアが必要な児童・生徒の受入れ検討の現状を問う	
(1) 将来必ず検討が求められる医療ケア児童・生徒の地域生活支援策の	
構築に向けた庁内の検討はどのように行われているのか	

一般質問の通告について

発言順	3
-----	---

平成31年 2月 13日
(西暦2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

村山ひでき

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 食育「Koganei-Style」の地域展開</p> <p>(1) 第3次小金井市食育推進計画</p> <ul style="list-style-type: none">① 5つの取組の指標の達成状況② 食品ロス（フードロス）の軽減 <p>(2) 学校教育での食育</p> <ul style="list-style-type: none">① 給食② 食育授業 <p>2. 無電柱化推進計画について</p>	

一般質問の通告について

発言順

4

平成31年2月14日
(西暦2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

沖浦 あつし

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>①小中学生がインターネット・SNSをより良く使うための 取り組みについて</p> <p>② “第5次小金井市基本構想”の策定にむけて 未来の小金井のことを考えていこう</p> <p>その1 「愛着と誇りの持てるまち 小金井」へ 子どもも大人も学びあえる環境を 学校教育で(給食地場野菜・ごみの減量など) 生涯学習で(仮称 小金井検定など)</p> <p>その2 「まちの魅力・シティプロモーション」 (仮称)小金井pay構想で交流人口増加、にぎわい創出を</p>	

一般質問の通告について

発言順

5

平成31年02月14日
(西暦2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 小金井市の未来を創る青少年教育について</p> <p>学校や、社会において、子ども達を取り巻く環境は、複雑な状況が重なり、益々難しい状況になっている。このような社会を乗り切る為に、直接体験を通し、青少年の「生きる力」を育てていくことは、家庭のご努力はもちろんの事、行政の大きな舵取りが求められる。</p> <p>ア) 青少年教育を所管する部署と役割、成果について問う。 イ) 地域で青少年教育を担う団体との意見交換の場があるのか。 ウ) 小金井市の青少年教育の目標について問う。 エ) 目標の明確化、責任の所在の明確化、指導者育成を。 オ) 未来を創る青少年教育を計画的に進めるべきではないか。</p> <p>2. 誰もが平等に社会参加できる「まち」にするために</p> <p>「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」(障害者差別解消条例)が施行された。第9条(情報伝達)にも記載されているが、平等な社会参画を推進する為には、早急な具体的な対応が求められる。</p> <p>ア) 障がいのある方の社会参加の状況と課題、市の対応について問う。 イ) 「手話言語条例」についての見解を問う。 ウ) 豊島区「手話言語の普及及び障害者の多様な意思疎通の促進に関する条例」を参考に条例制定を急がないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

6

平成31年2月14日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 東京2020オリパラ大会に照準を合わせ、伝統文化のイベントを行わないか (インバウンド系)。</p> <p>(1) 我が国への外国人旅行者の急増が見込まれる来年の夏、市が音頭を取って、宮地楽器ホールを有効活用するなど、武蔵小金井駅周辺を中心にイベントを展開してはどうか。</p> <p>(2) 市民団体が主催する日本舞踊や民謡、華道、茶道、書道のイベント、市内に拠点を持つ江戸糸あやつり人形の上演、また、夏に行う日本文化の各種行事を、同大会に併せて、時期的に集中させてはどうか。</p> <p>(3) 都は同大会に向けて、「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打った文化プログラムを展開し、同時にアイコンの活用推奨やPRグッズの提供等をおこなう予定。小金井市内でおこなわれる諸行事を、この流れに乗せて、気運醸成に寄与しないか。</p>	
<p>2 今年7月にオープンするファーマーズマーケットを、市としても応援しないか。</p> <p>(1) JAファーマーズマーケット (直売所) の特徴は。</p> <p>(2) 市内に新たにオープンするファーマーズマーケット概容は。</p> <p>(3) 農業振興計画における位置づけは。</p> <p>(4) 地場産野菜の拡大や、江戸東京野菜など地域の独自色の打ち出し、食育推進での活用は元より、地域の交流拠点や各種情報の発信拠点として盛り立てていかないか。</p>	
<p>3 最近発刊された防災メルマガと防災朝礼を連動させ、日常的な防災意識向上へ役立てないか。</p> <p>(1) 東日本大震災での体験をベースに作成された防災メルマガと、防災朝礼を連動させる取組について。</p> <p>(2) 市内で開催される各種会議などで、防災メルマガを活用し、恒常的に防災意識を高めるよう工夫しないか。</p> <p>(3) 市報やHPでの周知のほか、市の発信している安全安心メールでも紹介しないか。</p> <p>(4) 更に、市内の各種企業や団体、市役所と取引のある企業へと広めていき、広域的に防災意識を高めていってはどうか。</p>	

一般質問の通告について

発言順	7
-----	---

平成31年2月15日
(西暦2019年)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 白井 亨

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 「小金井らしい」新庁舎建設とは何か	
・基本設計業者選定において「小金井らしさ」をどのように注文しているか	
・小金井市に住む「人」がどのような「暮らし」を望んでいるかに立脚した視点を	
・このまちで最も長く生きる子どもたちが、建設に直接関わるような仕掛けを	
【質問意図】新庁舎建設にあたり「小金井らしさ」という言葉が時折使われるが、これは何を意味しているのか。「小金井らしさ」の定義とその反映手法について問いたい。	
2. 都市計画道路3.4.11号線について、市長は傍観するだけなのか	
・2月8日の意見交換会の様子を聴いて、市長は何を想う	
・就任以来、市長はこれまで都道の問題に対して何をしてきたのか	
・傍観せずに、都に「対話」を直接働きかけるのが市長の責務ではないか	
【質問意図】今年度の都市計画道路3.4.11号線の意見交換会が2月8日に開催されたが、都は今後意見交換会を開催せず、環境現況調査に入るという。市は傍観していて良いのか。	
3. 市内で最も利用者の多い市立公園・栗山公園のメンテナンスに力を入れよ	
・グラウンド(広場)の「石表出」問題について	
・夜道が極端に暗い外灯の改善について	
・そもそも、公園のメンテナンスはどのように定期的に行っているのか	
【質問意図】栗山公園のメンテナンスが不十分である。広場には石が転がり、夜道が暗い場所があるなど防犯・安全面からも改善が急務である。現状と対応策について問う。	

一般質問の通告について

発言順

8

平成31年2月15日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、スクールロイヤー制度の導入を	
児童虐待の諸事例がある中、千葉県野田市で小学校4年生の女子が死亡し、両親が逮捕された事件は特出している。	
これを受け、学校でのトラブルに対応する弁護士、	
スクールロイヤーの配置を進めていきたいという考え方が示されている。	
(1) 市の相談体制は	
(2) 児童相談所・警察署との連携は	
(3) スクールロイヤー制度の導入を考えないか	
2、認知症条例と向き合ってみないか	
(1) 認知症に関する周知・研修の現状は	
(2) 見守り事業の現状は	
(3) 認知症条例の導入を検討しないか	
3、歯みがき条例の実施を	
健康維持にオーラルケア効果が実証されている	
条例実施の検討を	

一般質問の通告について

発言順	9
-----	---

平成31年2月15日
(西暦 2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員 河野律子
(署名)

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 栗山公園のグラウンドについて、整備を図らないか	
グラウンド造成時に水はけへの考慮から砂利を使用したグラウンドの再整備を図り、より活用しやすいものに	
2 契約に係る総合評価方式の本実施を	
地域貢献やSDGs指標への取組など総合評価方式における評価項目を見直しし、市内事業者への支援を図らないか	
3 全国大会等に出場する小金井市に所在する団体等へも協力・支援を	
4 保育園に通う子どもたちの使用済みおむつの見直しに係る市の政策意思を問う	
5 市民に親しまれる新庁舎の建設を	
時を生むまち、桜、緑、水、オブジェ、小金井の魅力を発信する庁舎を	

一般質問の通告について

発言順

11

平成 年 2 月 15 日
(西暦 2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 視覚障害者の移動支援施策を充実せよ</p> <p>(1) 同行援護の月単位の支給時間(基本時間)の更なる引上げを。</p> <p>(2) 民間が行なうガイドヘルパー養成講座への受講料補助を。</p> <p>(3) ガイドヘルパー養成講座を市主催で実施せよ。</p> <p>(4) 同行援護、行動援護など"移動支援の事業所への単価(報酬単価)を引き上げるとともに、国に負担割合のアップを求めよ。</p> <p>(5) スマートホンを補装具に加えよ。</p> <p>(6) 同行援護の月単位の支給時間(基本時間)を複数月へと繰り越して利用できる仕組みに改めるよう、国に要請せよ。</p>	
<p>2. 学童保育指導員の基準緩和に反対するとともに、学童保育所大規模化への対応策確立を</p> <p>(1) 深刻化する学童保育所の大幅定員超過への対応策は確立されているのか。</p> <p>(2) 児童館を併用・使用している学童保育所の指導員を増員せよ。</p> <p>(3) 大規模化が想定される学童保育所の増設計画を早期に確立せよ。</p> <p>(4) 学童保育指導員の資格・配置基準の緩和に反対する意思を国に示せ。</p> <p>(5) 国が基準緩和を行なっても、現行基準を堅持せよ。</p>	

一般質問の通告について

発言順

12

平成31年 2月 15日
(西暦2019)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、国産液体ミルクの活用について (災害時・外出時)</p> <p>(1) 災害時における乳児用液体ミルクの活用を推進するため特性や活用方法等の普及啓発を行わないか。</p> <p>(2) 備蓄を行わないか。</p> <p>2、通学路等のブロック塀等の命を守る安全対策について</p> <p>民間のブロック塀の撤去・新設を行う者に対し補助金を交付する市町村に対して、国や東京都が補助金を実施する。小金井市として、補助を行わないか。</p> <p>3、東京都の「都市農地保全支援プロジェクト」を活用して、防災兼用農業井戸、掲示板設置等を行い、農地の防災強化を図らないか。</p> <p>4、東京都の「都市農地活用推進モデル事業」を活用して、高齢者活躍に向けたセミナー農園整備事業等を行わないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

13

平成 年 2 月 15 日
(西暦 2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

たけす貴

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 災害対策について (1) 災害の発生に備えた市の取組は十分か。災害後、市民の生活が守られるような取組は十分か。十分な取組を求める。</p> <p>2 障害サービスよりも介護保険サービスが優先されることについて (1) 障害者が65歳になると介護保険が優先され、サービス縮小や費用負担が生じ、生活が脅かされている。障害サービスを継続できるよう求める。</p>	

一般質問の通告について

発言順

14

(宛先)
小金井市議会議員

平成31年2月15日
(西暦)

小金井市議会議員

(署名)

渡辺さき子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、(仮称)新福祉会館に子育て世代包括支援センター「日本版ネウボラ」の開設を 妊娠期から出産・育児期までの切れ目ない支援を行う拠点が必要である</p> <p>① 検討は進んでいるか</p> <p>② どのような施設にするのか</p> <ul style="list-style-type: none">・各種相談事業の更なる充実を・SNSを使ったサポート事業の充実を	
<p>2、女性やLGBT（性的少数者）施策の更なる推進を 誰もが活躍できるダイバーシティを目指して</p> <p>① 女性施策について</p> <ul style="list-style-type: none">・ガールズ相談等SNSを使った相談事業の充実を <p>② LGBTの人権を認める社会を構築するために、今こそ同性パートナーシップ 制度を導入しないか</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでの検討状況や今後の計画は <p>③ 女性センター（男女共同参画センター）の設置を進めないか</p>	
<p>3、ペットと幸せに暮らす環境づくりを</p> <p>① 飼い主への学びの場を設けるべき</p> <ul style="list-style-type: none">・飼い主の責任や、しつけ、終生飼育等について・ペット防災について <p>② 地域猫活動の取組状況について</p>	

一般質問の通告について

発言順

15

2019年2月15日

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 片山かおる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 児童虐待とDVを防止するために、子どもの権利条例を充実させよう</p> <p>野田市で起こった児童虐待殺人事件を重く受け止め、子どもの権利の観点から小金井の体制を見直すべきである。</p> <p>1) 要保護児童対策地域協議会はどのように機能しているか。議事録について。SSWや婦人相談員の関わりについて。</p> <p>2) 各課における児童虐待とDVの関連の認識は。リスクのある子どもを見守る体制はできているか。転入してきた方のDV案件はどうか把握しているか。</p> <p>3) 教育委員会の対応について。</p> <p>虐待防止において、子どもの権利条例の重要性と実効性の認識は。</p> <p>2. 居住支援協議会と原発事故避難者への支援について</p> <p>2011年3月の原発事故から8年経つが、高線量の放射能汚染や廃炉に到れない原発の状況、地域コミュニティが無くなっている中での帰還政策が進められ、継続居住ができなくなる不安が増大し、民間団体への相談が相次いでいる。</p> <p>1) 原発事故避難者への支援状況は。</p> <p>2) 居住支援協議会の検討状況は。</p> <p>3. 放射能副読本の取扱いについて</p> <p>昨年10月に改訂された放射能副読本は各学校でどのように取り扱われているか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

18

平成31年2月15日
(西暦2019)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 市庁舎＋福祉会館、基本設計に向けて～設計業者任せではなく、市としての「考え」を持って臨むべきではないか～</p> <p>① 市庁舎は床面積の縮減の徹底が必要。 ② 低層階を広げ、建物の高さを抑制。 ③ 自動車は極力地下駐車場へ。 ④ 広場の面積は最大限に確保。広場と緑地は極力連続した空間に。 ⑤ 大災害時を想定した建物利用計画と土地利用計画。 ⑥ 土日祝や夜間の市民利用を想定した配置と動線。 ⑦ 免震構造の採用。鉄骨造の大幅な採用。</p> <p>2 職員等の定員管理について～市役所全体の定員管理という発想はあるのか～</p> <p>① 会計年度任用職員制度の施行は、正規職員のみならず、職員数全体の適正な管理が要請されることにつながると考える。現状、小金井市の職員数は多摩26市との比較でどうなっているか。 ② 会計年度任用職員制度の施行に向けて、職員数全体の適正な管理に関する計画を持つべきではないか。 ③ 審議会等の委員の数は多摩26市との比較でどうなっているか。 ④ 小金井市議会議員の定数が、人口同一市に比して多すぎる件に関して。総合調整権者としての市長の見解は。</p> <p>3 「まちなおし」に向けての提案（その2）</p> <p>① 武蔵小金井駅東側の東西道路（メガロスに向かう道路）の南側に、歩行者スペースの表示を。 ② 中央通り（中央線高架側道）と中山谷通りの交差点に信号の設置を。ランブリングウォーク貫通までは自動車制限時速を40km/h⇒30km/hに抑制を。 ③ 東小金井駅南口の駅前T字路に一時停止（止まれ）の表示を。</p>	

一般質問の通告について

発言順

20

平成 31年 2月15 日
(西暦)

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

斎藤康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>生産緑地の今後の対策</p> <ol style="list-style-type: none">1. 生産緑地とは<ol style="list-style-type: none">(ア) 背景と経過(イ) 現状について(ウ) 買取請求に対する行政の対応2. 平成34年問題<ol style="list-style-type: none">(ア) 平成34年に解除される可能性がある生産緑地の面積(イ) 特定生産緑地指定面積予測(ウ) 不動産売買における需要と供給のバランス(エ) 固定資産税・都市計画税への影響予測3. 特定生産緑地制度とは<ol style="list-style-type: none">(ア) 特定の指定はいつまで続くのか4. 農家の意向<ol style="list-style-type: none">(ア) 意向調査はどのように行っているのか(イ) 農家の意向をどのように市政に反映するのか5. 行政として対策講じるべきである<ol style="list-style-type: none">(ア) 農家に対する説明会と相談窓口を設置すべきである(イ) 市の政策に活用すべきである<ol style="list-style-type: none">1. 公共施設2. 保育施設3. 高齢者施設4. 住宅政策5. まちづくり政策	

一般質問の通告について

発言順

21

平成31年 2月15日

(2019年)

(宛先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1 こがねいプラごみゼロ宣言～市役所から率先してプラスチック削減を～</p> <p>(1) 環境省の「使い捨てプラごみ 25%削減目標」についての認識は。</p> <p>(2) これまでの小金井市の取組の成果と、市民や事業者に対する取組の強化は。</p> <p>(3) 鎌倉市に倣い「こがねいプラごみゼロ宣言」を行って、市役所から率先してプラスチックを削減しないか。</p> <p>①職員のマイバック、マイボトル、マイカップの使用を徹底。</p> <p>②ペットボトル飲料の会議等での使用制限を徹底。</p> <p>③プラスチック製ストローの利用廃止。</p> <p>④市役所や公共施設の自販機での、ペットボトル飲料の販売を極力廃止。</p> <p>2 空き家活用を考える。小さな保育園や、高齢者の共同住宅、安心できる居場所の確保に。</p> <p>(1) 「小金井市空家等対策計画」の進捗は。空家対策協議会での議論は。</p> <p>(2) これまでの、利活用に向けた小金井市の取組は。</p> <p>(3) 市民のニーズに合った空き家の有効活用について。相談できる窓口はあるのか。</p> <p>(4) 子どもや若者、高齢者の居場所、小さな保育園など、空き家・空き室の福祉的な利用を検討しないか。</p> <p>3 子どもの虐待予防には。</p> <p>小児科医と自治体の連携で、虐待の早期発見と予防を。</p> <p>(1) 市の1歳半健診などでは、小児科医や保育士などの連携はとれているのか。</p> <p>(2) 大分県中津川市の「20年をつづる 母子健康手帳」を導入しないか。</p>	

一般質問の通告について

発言順

22

平成31年2月15日
(西暦 2019)

(宛先)
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

森戸洋子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的な内容	備考
1. 子どもの生命を守るために- 児童虐待防止策の強化を	
(1) 小金井市の現状と対応について。	
(2) 子ども家庭支援センターの体制の強化について。	
(3) 児童相談所、教育委員会、医療機関との連携は。	
(4) 市内に、親子で利用できる産後のデイサービス、子どものショートステイ、一時保育などのサービスを提供できる児童養護施設を。	
(5) 子どもの権利条例を見直さないか。	
2. 消費税10%増税が市民生活に及ぼす影響と市の対応について	
(1) 消費税増税によって市民の生活と市の予算に重大な影響が出る。影響と対策についての見解を問う。	
(2) 増税分は、補助金や委託料などに反映されているか。	
(3) 日本スーパーマーケット協会などからも、見直しを求める意見書が政府に提出されている。市内の商店にも影響が出る。市長は中止を表明すべきではないか。	
(4) 大企業(資本金10億円以上)、株などで莫大な利益を得ている。大富裕層などの優遇税制の見直し、「1機約150億円戦闘機の爆買い」と言われる軍事費を削減し、巨大開発を見直すことが求められる。消費税に頼らない財源の確保策を要求する声を上げていくべき。	
3. 国保税の負担を軽減せよ	
(1) 高すぎる国保制度 子どもの均等割の見直しをしないか。	
(2) 一般会計からの補助の継続を。	